

2017 年度立教大学丸山千歌教授 集中講義の時間割

テーマ：学習者と教師のための日本語教育研究

4月27日（木）学習者のための日本語教育研究—質的研究によるアプローチ—

4月28日（金）開発型教師養成のための日本語教育研究

場 所：輔仁大学日本語文学科図書室 LA114

節次 \ 星期	4月27日(木)	4月28日(金)
10:10 11:00	講義① 学習者と教師のための日本語教育研究導入	講義⑥ 教師養成概観
11:10 12:00	講義② 質的研究導入	講義⑦ 言語教育の潮流と教師養成
13:40 14:30	講義③ PAC 分析法の紹介	講義⑧ 開発型教師養成のためのケーススタディ
14:30 15:30	講義④ ワークショップ	講義⑨ 開発型教師養成のためのケーススタディ
15:40 16:30	講義⑤ 学習者のための日本語教育研究	講義⑩ 学習者と教師のための日本語教育研究まとめ

参考文献リスト

- JACET SLA 研究会 (2000) 『SLA 研究と外国語教育』 リーベル出版.
- 石川恵子・山本忠行・鈴木宣行・山岡政紀 (1993) 『日本語 2nd ステップ』 白帝社
- 井上孝代(1997) 「留学生の文化受容態度とカウンセリング：PAC 分析による事例研究を通して」『カウンセリング研究』30、日本カウンセリング学会、216-226.
- 井上孝代 (1998) 「カウンセリングにおける PAC(個人別態度構造)分析の効果」『心理學研究』69(4)、日本心理學會、295-303.
- 宇佐美洋・森篤嗣・吉田さち (2009) 「『外国人が書いた日本語手紙文』に対する日本人の評価態度の多様性-質的手法によるケーススタディ-」『社会言語科学』12(1)、社会言語科学会 122-134.
- 小澤伊久美・丸山千歌 (2010) 「PAC 分析における「好ましい」統計処理とは-ソフトウェアによってデンドログラムが相違する問題への対処のために-」『ICU 日本語教育研究』6、ICU 日本語教育研究センター、25-47.
- 小澤伊久美・嶽肩志江・坪根由香里・八田直美 (2011) 「PAC 分析を日本語非母語話者に日本語で実施する際の留意点-タイ人新人日本語教師への PAC 分析から-」『ICU 日本語教育研究』8、ICU 日本語教育研究センター、19-34.
- 小澤伊久美・坪根由香里・嶽肩志江 (2011) 「PAC 分析法における統計処理の留意点-よりよい実施とデータ解釈のために-」『日本語教育実践研究フォーラム報告』WEB 版、日本語教育学会. 2012 年 5 月 20 日アクセス. <http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/Forumhoukoku/kk-Forumhoukoku.html>
- 小澤伊久美・嶽肩志江・坪根由香里 (2014) 「ある日本語授業についての経験日本語教師 A の語りとその背景にある意識：マルチメソッドによる分析」『ICU 日本語教育研究』10、ICU 日本語教育研究センター、3-24. クラスウェル, J.W.・[プラノ クラーク](#), V.L. (2010) 『人間科学のための混合研究法-質的・量的アプローチをつなぐ研究デザイン』北大路書房
- 抱井尚子 (2015) 『混合研究法入門 質と量による統合のアート』医学書院
- 才田いずみ (1997) 『平成 7~8 (1995-1996) 年度文部科学研究費時補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書 課題番号 07680303 日本語教育における実習生と学習者の認知的・情意的変容の研究』.
- 才田いずみ (1999) 『平成 9~10 (1997-98) 年度文部科学研究費時補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書 課題番号 09680294 日本語教育実習における実習生と学習者の態度変容の研究』.
- 末田清子 (2001) 「留学生体験の意味付け-大学生の留学前及び帰国後の滞在国に対するイメージ分析を通して-」、シーター・ジャパン『異文化間コミュニケーション』4、57-74. 館野洋子 (2014) 『日本語教育のための質的研究 入門』ココ出版
- 嶽肩志江・坪根由香里・小澤伊久美・八田直美 (2011) 「PAC 分析と質問紙調査併用によるビリーフ研究-あるタイ人日本語教師の事例より-」『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』19、横浜国立大学留学生センター、93-114.
- 坪根由香里・小澤伊久美・嶽肩志江 (2009) 「教師のビリーフ研究における PAC 分析活用の可能性と留意点--HALBAU と SPSS による分析結果の相違についての考察から」『言語文化と日本語教育』38、言語文化と日本語教育研究会、30-37.
- 内藤哲雄 (1993) 「個人別態度構造の分析」信州大学『人文科学論集 信州大学人文学部』27、43-69.
- 内藤哲雄 (2002) 『PAC 分析実施法入門 [改訂版] 「個」を科学する新技法への招待』ナカニシヤ出版.
- 内藤哲雄・能智正博・丸山千歌・小澤伊久美 (2010) 「PAC 分析のデータを実施者・被検者・第三者が共に語り合うデータセッション」(小澤伊久美・丸山千歌企画)、『PAC 分析学会第 4 回研究大会発表抄録集』、10-28.
- 日本語教育学会編 (2005) 『新版日本語教育事典』大修館書店
- 八田直美・小澤伊久美・嶽肩志江・坪根由香里 (2012) 「ノンネイティブ新人日本語教師にとっての研修の意義 -PAC 分析によるタイ人新人日本語教師のビリーフ調査から-」『国際交流基金日本語教育紀要』8、23-39.
- 丸山千歌 (2007) 「日本語教材の文化トピックからの学習者の発想-学習者とのインタラクションの解明に向けた PAC 分析の可能性-」『日本語教育のフロンティア』くろしお出版、161-184.

- 丸山千歌・小澤伊久美 (2008) 「PAC 分析におけるフェイスシートの開発に向けた課題—日本語教材と学習者のインタラクションの解明に向けた研究のために—」『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』15、3-19.
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2011a) 「日本語教科書に見られるステレオタイプを日本語教師はどうとらえたか—多様な日本語学習者への実践経験を持つ日本語教師へのパイロットスタディー—」『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』18、33-52.
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2011b) 「日本語学習者が読解教材から連想するイメージ—PAC 分析法を活用した留学前・中・後の縦断研究から—」2011 年度異文化間教育学会第 32 回大会、於お茶の水女子大学、2011 年 6 月 11 日 (発表抄録集 154-155) .
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2011d) 「留学経験から考える日本語教育の可能性—PAC 分析を活用した縦断的研究から—」世界日本語教育大会、於天津外国語大学、2011 年 8 月 20 日. (『異文化コミュニケーションのための日本語教育①』259-260) .
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2012) 「日本語教育研究における PAC 分析を活用した研究の展開」修剛他編『新時代的世界日語教育研究』高等教育出版社、146-152.
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2013) 「読解教材を刺激とした留学生の発想 —日本人との接触や日本体験はどのような影響を与えているか—」『CAJLE2013 Proceedings』、147-156 頁. <http://www.jp.cajle.info/cajle2013-proceedings/> 2014 年 10 月 31 日アクセス.
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2015a) 「渡日前の留学経験が日本語読解教材の読みに何をもたらすか—PAC 分析による日本語学習者 AB に対する縦断研究から—」『日本語教育実践研究』第 2 号、立教大学日本語教育実践学会、2015 年、16-27
- 丸山千歌・小澤伊久美 (2015b) 「「留学」の先を見据えた日本語教育」『ことば・文化・コミュニケーション』立教大学異文化コミュニケーション学部、1-16.

石田敏子 (1996) 『改訂新版 日本語教授法』大修館書店

近藤安月子 (2008) 『日本語教師を目指す人のための日本語学入門』研究社

近藤安月子・姫野伴子 (2012) 『日本語文法の論点43』研究社

徐敏民・近藤安月子監修 (2016) 『日語教学研究』外語教学与研究出版社

徐敏民・丸山千歌 (2012) 「新しい日本語教材開発のための中日協働プロジェクト—「Can-do Statements」を用いた教材開発—」『新時代的世界日語教育研究』高等教育出版社、pp. 153-159.

徐敏民・丸山千歌 (2013) 『新界標日本語 1』復旦大学出版社

徐敏民・丸山千歌 (2014) 『新界標日本語 2』復旦大学出版社

徐敏民・丸山千歌 (2016) 『新界標日本語 3』復旦大学出版社

徐敏民・丸山千歌 (2017) 『新界標日本語 4』復旦大学出版社 (印刷中)

高見澤孟 (2004) 『新・はじめての日本語教育 2 日本語教授法入門』アスク 1900円 (税抜き)

日本語教育学会編 (1991) 『日本語教育機関におけるコース・デザイン』凡人社

日本語教育学会編 (1995) 『タスク日本語教授法』凡人社

吉島茂・大橋理枝 (翻訳) (2004) 『外国語教育〈2〉外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社